

# がみひこうき

Artist Collective Fuchu [ACF] かわら版

3号  
2022年3月  
発行

DESIGNER  
杉浦一志 (JISHAQMEN)  
PUBLISHER  
Artist Collective Fuchu [ACF]



**Artist Collective Fuchu [ACF] とは**  
NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウは、「表現」や「アート」に関心のある人々が集まるネットワークです。アートイベントの開催や、メディアを通じた情報発信、学びの機会となるワークショップの実施など、まちの中での「表現活動」を促進しています。自分たちの住むまちを、より魅力的で生きやすい「誰もが自由に表現できるまち」にしたい。これがわたしたちの原動力です。  
<https://acf-tokyo.com>



**null [ヌル]** - 自由な場所とアートなこと -  
null(ヌル)は"ぬるぬるこねくと"を合言葉にオンラインとオフラインでつながるコミュニティ・サロンです。参加者たちがテーマにまつわるものを持ち寄り、何を考え、どんな興味を持っているのか、自分との接点や今まで知らなかった面をお互いに発見して交流を深めていきます。次回開催はQRコードからウェブサイトをご確認ください。



FM87.4MHzで  
毎月、第1火曜日  
22時から放送中



Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」  
府中のコミュニティ FM 放送局ラジオフューズ 87.4MHz で、ACF がお届けするラジオ番組です。ゲストをお招きして創作のこと、府中のこと、アートにまつわる内容を中心にお話していただきます。2019年10月からスタートした番組も30回になりました。様々なゲストが出演する過去の放送は右上のQRコードからACFの公式YouTube、またはPodcastでご視聴いただけます。

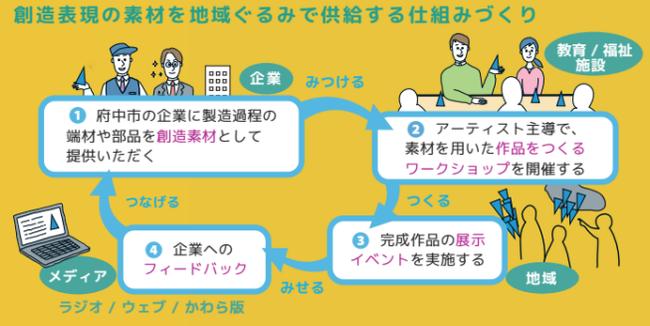
中面は **ラッコルタ** はじめてのオンラインワークショップ特集!  
- 創造素材ラボ -

## ラッコルタ

- 創造素材ラボ -



**ラッコルタ - 創造素材ラボ -**  
ラッコルタ - 創造素材ラボ - は Artist Collective Fuchu [ACF] と府中市の生涯学習課が取り組む市民提案型協働事業です。地元企業から部材や端材を提供していただき、それらを創造素材として新たに活かす仕組みを作ります。身近にあるモノを違う視点から捉える機会を重視し、アーティストが企画した、素材を用いたワークショップを行います。アーティスト独自の視点を体験しながら、子供や大人が表現活動に取り組みます。



**協力企業募集しています! /**  
ラッコルタ - 創造素材ラボ - に素材を提供したい、何か協力したいと考えてくださる企業の皆様、ご連絡をお待ちしています。  
[project.acf.21@gmail.com](mailto:project.acf.21@gmail.com)

【協力企業】  
玉川石材工業(株)  
(株) TOKIO Lab  
(一社) まちづくり府中  
日本光具(株)  
(株) F.F.P



【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ(ACF) (府中市市民活動センタープラッツ登録団体) 080-3424-0025  
※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。 ※掲載記事、写真、イラストの無断複写、複製、転写を禁じます。

### 3月号特別付録★がみひこうき★

- 1 半分に折って折り目をつけます
- 2 半分の折り目にあわせて折ります
- 3 点線のところで2つに折ります
- 4 半分の折り目にあわせて折ります
- 5 真ん中の三角を先に向かって折ります
- 6 うら返しに半分に折ります
- 7 底辺に合わせてつばさを折ります
- 8 反対側も折って完成です

紙面中心のキリトリ線で半分に切り取って、1~8の順に折って紙飛行機を完成させよう!

※紙飛行機を折る際はこのラインで切り取ってください。

ACFの冊子「あなたのカタチ?」配布中!  
ACFの今までのあゆみ、現在の活動、未来に向けた取り組みを紹介する冊子「あなたのカタチ?」が市内各所からご覧いただけます。



ACF新メンバー募集中!  
ACFでは一緒に府中を「おもしろいまち」にしたい仲間を募集しています。一緒にプログラム運営をやってみたい方、文章を書くことが好きな方、地元府中に友達や交流が欲しい方、そして何よりアートやクリエイティブな活動が好きなお友だち、ご連絡お待ちしています。  
[contact@acf-tokyo.com](mailto:contact@acf-tokyo.com)

株式会社 TOKIO Lab さんからご提供いただいた素材。吸引機を輸送する際に使われる梱包材のガンボール片。

# いつもの風景をいつもと違った視点で見つめ直す

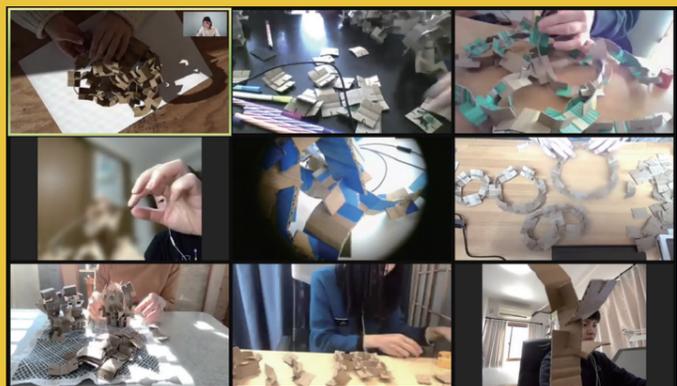
## 「暮らしの彫刻」オンラインワークショップと 成果展、開催しました



来場者が自由に素材を接着し、細胞のように増殖していく作品。展示最終日には空中にまで伸び、大きく成長しました。

ラッコルタ - 創造素材ラボ - vol.1「暮らしの彫刻」。12月5日(日)にオンラインワークショップ、12月6日(月)から19日(日)までとりときハウスギャラリーで成果展を行いました。 ※表面、ラッコルタの説明も併せてお読みください。

12月6日(月)より開催された成果展では、それらの「暮らしの彫刻」写真に加え、講師の三木さんの作品も展示されました。「変換する」ことから制作活動を始め、「いつも見ている景色を捉えなおす」試み続ける三木さんの視点を紹介。会場中心のテーブル上には、来場者が自由に素材をつなげて増殖し変化を続ける作品も展示。最終日にはテーブルの上から空中に向かって伸びる、大きな作品に成長しました。また、来場者は素材を持ち帰ることもでき、各自宅で撮影した「暮らしの彫刻」写真を展示に追加していくことにより、常に発展し続ける2週間の展示となりました。



モニターに映る参加者の制作風景

ラッコルタ - 創造素材ラボ -、はじめてのオンラインワークショップ「暮らしの彫刻」には子供から大人まで18組、合計約30の方が府中市内、市外から参加。アーティストの三木麻郁さんと一緒に、株式会社 TOKIO Lab さんから提供いただいた梱包材を使って「暮らしの彫刻」をつくりました。参加者は三木さんとオンラインで交流しながら、ダンボールパーツをDNAのように思い思いにつなげて、自分だけのカタチを立ち上げ、それぞれの生活空間のなかに、カタチの居場所を見つけて設置。日常の風景を改めて見つめ直し、いつもと少しだけ違った景色を見出す「暮らしの彫刻」の完成です。参加者は、順番にオンラインでプレゼンテーションを行い、お互いに観賞し合いました。普段生活している場所に組み込まれたカタチを各自が撮影し、翌日からの展覧会で発表しました。



オンラインワークショップでカメラに向かって説明をする三木麻郁さん

今回のラッコルタでは「見慣れた世界の俯瞰を試みる」美術家 三木麻郁さんを迎え「空気、水をコントロールする製品開発を行う」株式会社 TOKIO Lab の素材を使い、「DIY 歓迎の自分らしい暮らしを尊重する賃貸住宅」とりときハウスのギャラリーにて、オンラインワークショップ+展覧会を実施しました。今後も、個性的なアーティスト・地域企業・場所をつなげながら、新たな視点をもたらす事業を展開していきます。

### 講師の三木麻郁さんからひとこと

オンラインでの交流でしたが、参加者さんたちの笑顔から、本当に楽しんでいただけている手応えをモニター越しでも感じる事ができました。「アートはハブになれる」というひとつの役割を、スマートに体現した企画になれたのではないのでしょうか。産業とアートを繋げたことから、市民とアートをつなげ、ひいては産業と市民を繋げる取り組みだったと、思います。



三木 麻郁 Maaya Miki 美術家 / Artist

1987年生まれ。東京を拠点に活動。  
2013年武蔵野美術大学油絵学科油絵専攻卒業。  
2015年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。

文学、数学、天文学、音楽などの領域を行き来しながら、既存の規則ルールを少し変化させ別の装置を使って再現する。固定観念からほんの少し脱輪させることで見える(感じる)風景を、様々なメディアを通して再現を重ねる。私たちが見慣れてしまった世界の俯瞰を試みている。私は世界の一端にしか触れられないことについて、謙虚に、真摯になりたいと思う。

素材を提供いただいた株式会社 TOKIO Lab

### 取締役・総務部長 福原 強さんよりひとこと

製造業という立場上、SDGs や廃棄物の利活用には強い意識はありましたが、今まで無かった視点や価値観に触れることができました。同じ「ものづくりの仲間」として、社員一人ひとりがこれを変えるキッカケにして今後の仕事や生活に活かして欲しいと思います。



### 株式会社 TOKIO Lab

2016年に医療機器の製造販売および製造を行う会社として東京都府中市に設立。流体を制御するものづくりを得意とし、小型ポンプを応用した各種機器の開発・製造・販売を行う。

「暮らしの彫刻」の写真はインスタグラムでご覧いただけます。今回のレポートや今後の予定もフォローしてご確認ください。

@raccolta\_acf



成果展では参加者が撮影した「暮らしの彫刻」の写真を展示



### オンラインワークショップ参加者の感想

色々な方の創作の過程やお話を聞くことができ、大変楽しかった。大人、子ども、世代という括りで捉えることのできない多様な発想、思いの違い、新しい感覚、考えに触れることができ、素敵な時間を過ごすことができました。

Aさんの感想

いつもの場所が、ワークショップに参加することで少し景色が違って見えた。材料は軽くて扱いやすく、とても良い素材だと思った！もし対面で集まってみんなで一緒に何か作れたらおもしろそうだなあと思った！

Bさんの感想

創ること自体がセラピーのようで大変心地よかった。素材の形や重さ、色などに任せて創っていく過程で、自分の日常や経験が重なっていった。年代も暮らし場所も違う人たちが同じ素材に向き合うという、とても面白い時間になった。芸術家の方たちや、こういう取組を進めている府中市もすばらしい。

Cさんの感想

#### 「暮らしの彫刻」オンラインワークショップ情報

日時 2021年12月5日(日)  
午前の部(10:00-12:00)、午後の部(14:00-16:00)  
場所 オンライン  
講師 三木麻郁(美術家)  
対象 どなたでも参加いただけます  
定員 各回10名  
参加費 無料

#### 「暮らしの彫刻」成果展情報

会期 2021年12月6日(月)~12月19日(日) 11:00-17:00  
会場 とりときハウス ギャラリー  
東京都府中市宮西町4丁目13番地の4